

新人研修

10月19日（金）

「看取りの看護」「呼吸器の取り扱い」「六ヶ月フォローアップ」「すぐに役立つモニター心電図」研修をおこないました。ハードスケジュールでしたが、有意義な一日でした。

「看取りの看護」では緩和ケア認定看護師による2時間45分の講義の中で、死の体験旅行が印象的でした。患者さんに寄り添う看護師をめざして頂きたいと思います。

10月19日	新人研修	
7:30～8:35	オリエンテーション	
8:35～11:15	看取りの看護	岩井又代 緩和ケア認定看護師 教育委員 富永
11:15～12:00	休憩	
12:00～13:40	呼吸器の取り扱い	コグテエンジニア株式会社
13:40～15:00	6ヶ月フォローアップ研修	教育委員 富永、鳥羽 新人指導者 安藤、前田
15:00～15:10	休憩	
15:10～16:40	すぐに役立つモニター心電図	木村恵理子先生
16:40～17:00	記録と反省会	

～新人看護師の報告書から～

- ・がんを患った患者さんになり自分の大切なものを一つずつ捨てていく体験をおこないました。捨てる付箋を一枚一枚選びながら私はどれも選べないと感じとてもつらい気持ちになりました。死の体験を行ったことによって患者さんの気持ちを少しでも理解できたように感じました。
- ・死ぬというのは自分が今まで手に入れてきた大切な物や人、環境をすべて失っていく過程を辿ることであり、本当に大きな喪失感が伴うことを実感しました。
- ・事例を通して援助方法を学び、看護師としての役割を知りました・・・。





呼吸器を体験しながらの研修。呼吸器の作動が理解しやすかった



医師に報告する際は「いつから、どれくらい、R-R 間隔は、QRS 幅は、血圧は、患者さんの訴えは」などに注意し、観察を行い報告を行っていききたい

モニター心電図

■ヒヤリ・ハットを中心にグループワークを行いました。

C グループ

○グループ

小林 慶也 (5期)

山崎 結香 (5期)

田口 優太 (5期)

高橋 希音 (5期)

村上 悠里 (NICU)

川口さん

- ・名前が似ている患者さん同士が間違えかけた。
- ・配薬を何人分も一度に持っていた。取り間違えかけた。
- ・回収の麻薬を全員に戻し忘れた。
- ・配薬し内服を確認しないといけなかった患者さんだったが「飲んどくけん」という患者さんの言葉を鵜呑みにした結果、飲み忘れていた。

ヒヤリ・ハット事例

点滴を停止したまま、次の点滴があるが確認しに戻ったが、焦っていたため別の患者さんの点滴をつないでしまった。PDAも通し忘れていた。NICUでミルクを作ったが、規定量入って作れおらず、薄味になった。

1

困ったこと

- ・夜勤に入るようになり、どのように患者さんの安否を確認したらよいか迷った。申し送りも要点をまとめるのも難しい。
- ・受け持った患者さん全員と関われなかった。1人、2人にかかりきってしまう。
- ・患者さんが注意を固く入れてくれないときの対応。

3

思ったこと・学んだこと

- ・同時に同じようなことをせず、わずかならでもいいからやる。
- ・初心を忘れない。
- ・自分自身が最終確認する!!
- ・少しでも違うことがあれば確認する
- ・常に疑問を持つ!

4